

昨秋、相模原市大野台に竣工した工業団地「協同組合S-i-a神奈川」は、ワイナリー跡地に建設された。すっかり様変わりした景観の中で、組合のロゴマークにあらわれたぶどうが唯一その名残と思いきや、実はそうではない。

金属表面の耐摩耗性や強度を劇的に向上させる特殊加工を手掛ける株式会社・工場は、ワイナリーワークスの醸造所兼販売所であった建物そのものだ。造成を前に取り壊しが決まっていたが、下平社長が気に入つて“購入”。これにより団地内での同社の配置も決まった。

「費用節約のためでは

車の走行距離を考慮して、車両の燃費を計算する。車の燃費を計算する

車の燃費を計算する



人と企業群

(145)

(株)不二WPC



「会社を大きくしない」が哲学の下平社長

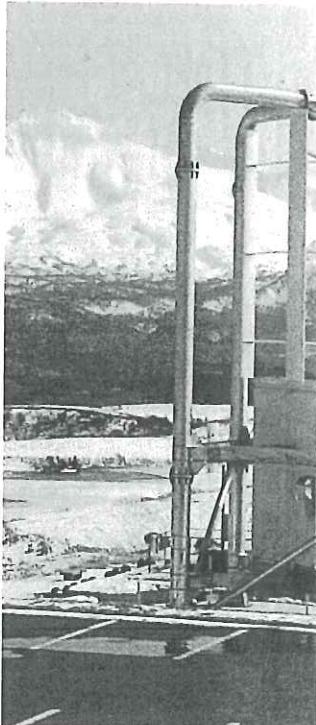
小規模、多顧客を経営哲学に、技術・営業両面で独自性を追求

(矢吹)

開発した極めてユニークな金属処理技術、WPCとの出会いだ。WPC処理とは、金属から切削工具、金型など、対象物の強度や耐久性を最大化したものの、機械部品や工具に対する影響を最小限に抑えたいが、モータースポーツ分野へのアプローチで、居心地もいい。

大和市は12月17日、東京都町田市と「災害時ににおける相互応援に関する協定」を締結した。大規模災害が発生した際の応急対策や復旧活動などで相互応援を行う協定で、食料や飲料水などの提供をはじめ避難所やごみ焼却施設などの相互利用、職員の派遣、ボランティアの斡旋などを盛り込み、大木哲市長が町

WPC、DLC処理の複合技術



国内で試験中の南極向け

(台風) 日数は約57日にもなる。風速30~40m/sの強風のため、水平型のプロペラ式風力発電だと割り回り過ぎて壊れてしまう。しかし、風の影響を受けにくい垂直軸に回る縦型のブレード(羽

県は1月15日午前10時30分から県産業技術センター(海老名市今泉)で神奈川R&D合同展示

会を行う。

県内に研究開発拠点を持つ神奈川R&D推進協議会のメンバー14社(大

手製造業)の技術者約500人に県内の中小、中堅企業80社が自社技術などをアピールする展示会

神奈川R&D相模原19社、大和3社が会展中心に出展

おり。

「相模原」△マイクロ

△エイト技工(株)△

3D-CADによる

構造設計、SH3/4/H8マイコンの組み込み

ソフト開発。

△エイト技工(株)(永川町)

△マイクロ

△マイクロ